

記者発表用資料

1 趣 旨

日本茶業の将来を展望し、茶生産の近代化と我が国茶業経営の一層の発展を図ることを目的とする。

2 主 催

全国茶生産団体連合会、第 80 回全国お茶まつり佐賀大会実行委員会

3 審 査

令和 8 年 8 月 2 5 日から 2 8 日の 4 日間にわたり嬉野市中央体育館において審査を実施した。全国茶産地の試験研究機関及び生産・流通関係団体の代表者 2 0 名が審査員として参加した。審査長は 国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 果樹茶業研究部門茶業研究領域の谷口郁也が務めた。

4 審査結果

(1) 茶種別入賞点数

茶種（部門）	出品 点数	入賞点数			
		一等	二等	三等	計
普通煎茶 1 0 kg	110	6	11	17	34
普通煎茶 4 kg	100	5	10	15	30
深蒸し煎茶	100	5	10	15	30
かぶせ茶	89	4	9	13	26
玉露	92	5	9	14	28
てん茶	108	5	11	16	32
蒸し製玉緑茶	114	6	11	17	34
釜炒り茶	101	5	10	15	30

(2) 産地賞（各茶種における審査成績上位3点の合計点数が上位の市町）

茶種（部門）	1 位	2 位	3 位
普通煎茶 10 kg	南九州市（鹿児島県）	筑後市（福岡県）	霧島市（鹿児島県）
普通煎茶 4 kg	川根本町（静岡県）	浜松市（静岡県）	静岡市（静岡県）
深蒸し煎茶	掛川市（静岡県）	牧之原市（静岡県）	御前崎市（静岡県）
かぶせ茶	綾部市（京都府）	舞鶴市（京都府）	宇治田原町（京都府）
玉露	八女市（福岡県）	京田辺市（京都府）	藤枝市（静岡県）
てん茶	宇治市（京都府）	城陽市（京都府）	八女市（福岡県）
蒸し製玉緑茶	嬉野市（佐賀県）	東彼杵町（長崎県）	武雄市（佐賀県）
釜炒り茶	嬉野市（佐賀県）	延岡市（宮崎県）	天草市（熊本県）

(3) 特別賞

1) 農林水産大臣賞

茶種（部門）	産地名	氏名
普通煎茶 10 kg	鹿児島県南九州市	知覧銘茶研究会 農事組合法人 大隣岳茶生産組合
普通煎茶 4 kg	静岡県静岡市	静岡本山茶 マルハチ小澤園 小澤晃
深蒸し煎茶	静岡県掛川市	株式会社 松下園 代表取締役 松下彰
かぶせ茶	京都府綾部市	小西茶業組合 代表 大槻正志
玉露	福岡県八女市	茶業部会星野支部 宮原幸子
てん茶	京都府宇治市	古川嘉和
蒸し製玉緑茶	佐賀県嬉野市	碓石銘茶研究会 白川稔
釜炒り茶	佐賀県嬉野市	嬉野南部釜炒茶業組合 吉牟田由紀子

2) 農林水産省農産局長賞

茶種（部門）	産地名	氏名
普通煎茶 10 kg	福岡県筑後市	マル永製茶 永松優次
普通煎茶 10kg	福岡県筑後市	原田茶園 原田竜二
普通煎茶 4 kg	静岡県榛原郡川根本町	松島園 川崎好和
深蒸し煎茶	静岡県牧之原市	大地の会 代表 荒畑賀範
かぶせ茶	京都府綾部市	(有)両丹いきいきファーム 中田義孝
玉露	福岡県八女市	茶業部会星野支部 山口英昭
てん茶	京都府宇治市	辻航己
てん茶	京都府宇治市	宇治市茶生産組合 古川嘉嗣
蒸し製玉緑茶	佐賀県嬉野市	山崎真一
蒸し製玉緑茶	佐賀県嬉野市	梶原製茶園 梶原雄世
釜炒り茶	佐賀県嬉野市	嬉野南部釜炒茶業組合 吉牟田敏光
釜炒り茶	宮崎県延岡市	甲斐義之

3) 公益社団法人日本茶業中央会会長賞

茶種（部門）	産地名	氏名
普通煎茶 10 kg	鹿児島県南九州市	知覧銘茶研究会 兄弟社折尾園株式会社
普通煎茶 4 kg	埼玉県所沢市	所沢市茶業協会 新井真一郎
深蒸し煎茶	静岡県掛川市	株式会社 松下園 松下芳春
かぶせ茶	京都府綴喜郡宇治田原町	JA 京都やましろ 宇治田原町茶業部会 下岡清富
玉露	福岡県八女市	茶業部会黒木矢部支部 グリーンティ日向神 月足靖彦
てん茶	京都府宇治市	古川史代
蒸し製玉緑茶	佐賀県嬉野市	嬉野銘茶塾 永尾俊介
釜炒り茶	宮崎県延岡市	甲斐正太郎

4) 全国茶生産団体連合会会長賞

茶種（部門）	産地名	氏名
普通煎茶 10 kg	鹿児島県南九州市	知覧銘茶研究会 (有)永山製茶 永山靖紘
普通煎茶 4 kg	埼玉県入間市	入間茶研究会 池谷英樹
深蒸し煎茶	静岡県牧之原市	茶ぐりん深蒸し茶研究会 代表 紅林慎史
かぶせ茶	京都府福知山市	土成茶園 吉田三奈美
玉露	福岡県八女市	茶業部会星野支部 倉住努
てん茶	京都府宇治市	山崎省吾
蒸し製玉緑茶	佐賀県嬉野市	松尾博
釜炒り茶	宮崎県延岡市	甲斐まち子

5) 全国茶商工業協同組合連合会理事長賞

茶種（部門）	産地名	氏名
普通煎茶 10 kg	福岡県筑後市	角信製茶 角誠也
普通煎茶 4 kg	静岡県榛原郡川根本町	相藤園 相藤裕次
深蒸し煎茶	静岡県掛川市	丸山製茶株式会社 丸板茶工場 清水紳吾
玉露	福岡県八女市	茶業部会星野支部 宮原健次
蒸し製玉緑茶	佐賀県嬉野市	碓石銘茶研究会 永尾耕大

5 審査概評（谷口審査長）

第 80 回全国茶品評会審査会は、令和 8 年 8 月 25 日（火）から 28 日までの 4 日間にわたり、佐賀県嬉野市の嬉野市中央体育館において開催されました。全国から集まった 20 名の審査員により 18 都府県から 7 茶種 8 部門に出品された合計 814 点について、慎重に審査されました。

昨年、夏期の干ばつで栽培管理が難しかったと考えられる中、抹茶をはじめとした輸出やインバウンド需要の高さ等により、需給が引き締まり昨年以上に高い茶価で推移しました。好調な市場の状況の中、全国の一番茶生産量も昨年比で大幅に増加しました。

このような中、本審査会には、全国各地から高い技術と努力により生産された数多くの優れた茶が出品されました。いずれの茶種も栽培・製造技術の高さがうかがわれる秀品が揃い、生産者及び関係者の皆様の熱意とご尽力に深く敬意を表します。

（１）普通煎茶 10 kg

鹿児島県、福岡県、静岡県、宮崎県など 7 県から 110 点の出品がありました。

本茶種は機械摘みが条件となっています。上位は、外観、内質ともに優れ出品者の高度な栽培・加工技術が感じられるものでした。中位も良品が揃っていましたが、上位に比べ、やや香味に差が見られました。下位は、摘採時期の遅れや加工技術に改善を要するものが散見されました。

（２）普通煎茶 4 kg

静岡県、滋賀県、福岡県、埼玉県など、全部門で最多となる 15 都府県から 100 点の出品がありました。

上位のものは技術の高さをうかがわせる見事な秀品が揃っていましたが、中位のものについては、小さな欠点のみで、上位に迫るものからやや欠点の多いものまでが見られました。下位のものについては、いくつかの欠点が散見され、上位との格差を感じました。本年の出品茶は全体的に、香気・滋味が控えめな傾向で、近年の難しい気象条件の中での製造の苦労をうかがわせるものでした。

（３）深蒸し煎茶

静岡県、鹿児島県、愛知県から 100 点の出品がありました。

上位は、深蒸し煎茶特有の黄緑色の外観で、深みのある温かな芳香と濃厚なうま味のある秀品でした。中位のものも上位との差は小さく、技術の高さを感じました。下位には、蒸しが浅く、普通煎茶風で色沢、水色に青みの強いもの、青臭を感じるもの、苦渋味の強いものがありました。

(4) かぶせ茶

京都府、滋賀県、三重県、奈良県などの8府県より89点の出品がありました。

上位・中位の格差は小さく、特に上位にはつやがあり、鮮緑色の外観、かぶせ茶らしい覆い香のきいた香気、明るく旨味を感じさせる水色、覆い味と新鮮味をあわせ持つ滋味を備えた秀品が揃っていました。下位には、外観では大型、破碎、香気では葉傷み臭、水色では赤み、黄色み、地味では葉傷み味、苦渋味などの欠点が見られるものが散見され、上・中位との格差が感じられました。

(5) 玉露

福岡県、京都府、鹿児島県、静岡県など7府県から92点の出品がありました。

上位には、細よれで締まった形状と鮮緑や濃緑の外観色を備え、濃厚な旨味と覆い香をあわせもつ秀品が揃っていました。中位は上位に比べて、水色や滋味において格差が感じられるものの、明るい色調と強い旨味の優品が多く見られました。下位には大形や不揃い、赤みの外観のものが散見され、それらは、黄色みや赤みの水色、葉傷み、硬葉の臭いや味、苦渋味が指摘されるものでした。

(6) てん茶

京都府、静岡県、愛知県など8府県から108点の出品がありました。

上位には鮮緑色で冴えのある外観と覆いの効いたてん茶特有の芳香、濃度感を感じさせる水色、豊かなうま味を有する優れた内質のものが揃っており、中位と上位の品質格差は小さく感じました。一方、下位では外観で染まり不均一や不足なもの、内質では葉傷みや苦渋味を感じるものが散見されました。

近年てん茶需要の高まりの中、本品評会を契機として、全国的な品質向上が期待されます。

(7) 蒸し製玉緑茶

佐賀県、長崎県、熊本県の3県から114点の出品がありました。

上位は、細よれかつ濃緑色の外観で、爽快な若葉の香りと濃厚な旨味のある秀品が揃っていました。中位は、濃度感や旨味で上位との差が見られたものの、全体的に優れたものがありました。下位は、渋味や萎凋味、葉傷み臭などを指摘されるものが散見されました。

例年よりも多くの出品があり、全体的に品質の高いものが揃うなど生産者の意欲と技術力が感じられました。

(8) 釜炒り茶

佐賀県、宮崎県、熊本県の3県から101点の出品がありました。上位は、濃緑色で良く締まり、濃度感のある水色、爽快感のある釜香とうま味のある秀品が揃っていました。中位は上位と比べて、やや新鮮香に欠けるもの、渋みを感じられるものがありました。下位は雑ばくのもの、萎凋香、水色の黄色みや赤み、滋味が強いものがあり、上・中位との差が感じられました。

6 今後の予定

行事名	期日	会場
出品茶入札販売会	令和8年9月17日（木）	嬉野市中央体育館
褒賞授与式・出品茶展示	令和8年11月21日（土）	ミズウエルビーホール
ちやさい 茶祭イベント	令和8年11月21日（土）・22日（日）	佐賀県立美術館・博物館前